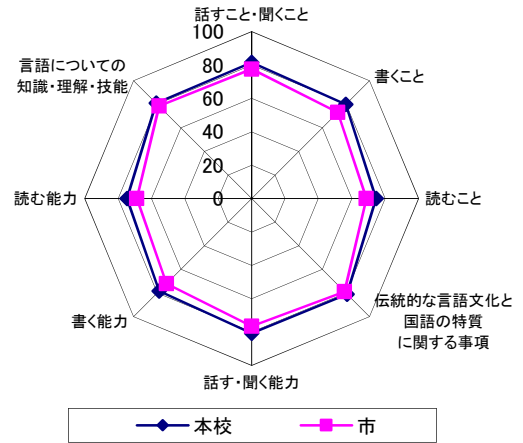


# 宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	81.5	77.6	76.3
	書くこと	79.8	73.0	56.1
	読むこと	74.6	68.8	63.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	80.9	78.8	71.6
観点別	話す・聞く能力	80.7	76.5	75.4
	書く能力	78.3	72.0	58.1
	読む能力	74.6	68.8	63.9
	言語についての知識・理解・技能	80.8	78.4	70.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は81.5%と、市平均の77.6%を上回っている。</p> <p>○「司会者の工夫を聞き取ることができる」の問題では市の平均より11.5ポイント上回っている。また、記述式の問題も含め、すべてで上回っている。</p>	<p>・話すこと・聞くことの学習材だけでなく、自分たちの発表する機会を増やしお互いの考えを伝える工夫や話し方・説明の仕方の工夫について、継続的に指導する。</p>
書くこと	<p>平均正答率は79.8%と、市平均の73.0%を大きく上回っている。</p> <p>○「文章の展開を捉えて、その内容を整理してまとめる」問題では市の平均より6.7ポイント上回っており、他の問題でも、すべてで上回っている。</p>	<p>・書くことの教材を通して書き方を学んだり、説明的な文章や小説の読解などでも書くことを意識させて授業を行っている。</p> <p>・また、入試対策のために時間内に書く練習などしており今後も継続していきたい。</p>
読むこと	<p>平均正答率は74.6%と、市平均の68.8%を大きく上回っている。</p> <p>○「文章の展開や構成を捉える」問題では市の平均より9.4ポイント上回っている。他の問題でも、すべてで上回っている。</p> <p>●「登場人物の心情を捉える」問題では正答率が53.4%のものがあった。</p>	<p>・文学的作品の読解力は、朝の読書などの読書量に関わっていると考えられるので、今後も読書指導に力を入れていきたい。</p> <p>・説明文の読解については、接続語に目を向けさせ段落間の関係や、文章の構成をとらえる機会を増やしている。</p> <p>・次年度からは発展学習として新聞記事の読み比べなど、表現の特徴や展開の仕方を比較させる機会を設けていきたい。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>平均正答率は80.9%と、市平均の78.8%をわずかに上回っている。</p> <p>○漢字を読み取る問題では市の平均より13.4ポイント上回っている問題があった。</p> <p>●類義語・対義語の問題と歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題では、市の平均をやや下回っていた。</p>	<p>・語彙力・漢字の書き取り能力は教育活動全般に関わるものなので、今後も繰り返し学習する機会を増やしていきたい。</p> <p>・文法に関しては、習ったことも忘れてしまうことがよくあるので、文法の学習時だけでなく説明的な文章などの時にも話題に出し、繰り返し学習できるようにしていきたい。</p>